

SONORAは順調に成長 次期製品の開発も進む

インクジェットソリューションも成果

昨年、新型コロナウイルス感染拡大に伴い経済活動が低迷した1年となった。印刷業界も厳しい舵取りを強いられている企業は少なくない。その中、製造工程の効率化などでコスト削減や現場力向上を実現しようという動きが顕在化している。

コダック ジャパン（以下コダック）は、そのようなユーザーの挑戦を多彩なポートフォリオでサポートしており、昨年4月に開催された virtual.drupa や10月のVirtual Press Conferenceにおいてデジタル、オフセット、ワークフローの新たなラインアップを発表するなど、印刷会社の収益向上を命題に提案を進めている。また、日本国内では完全無処理CTPプレートのSONORAが累計導入社数700社を超え、コロナ禍においてもますますニーズが高まっている。

2022年、コダックは印刷業界の抱える課題をどのように捉え、解決へと導くか。同社の取組みについて中川武志執行役員プリント事業部プリント営業本部商業印刷営業統括部長、河原一郎執行役員プリント事業部デジタルプリンティング営業本部長に聞いた。

印刷会社の利益向上をサポート

クを含め、多くのイベント、プロモーションにさまざまな制約があったことから印刷業界では需要が落ちた。また、人的な抑制や物流の混乱、部品の供給不足など、これほど外的要因の影響を受けたことは記憶にない」と振り返る中川氏。欧米では経済活動を活性化させるという政府の方針もあり、堅調なようだが、

◆厳しさを乗り越えた1年

「昨年の後半から新型コロナウイルスの感染拡大が緩和し、経済も回り始めてきたが、東京オリピック・パラリンピックを含め、多くのイベント、プロモーションにさまざまな制約があったことから印刷業界では需要が落ちた。また、人的な抑制や物流の混乱、部品の供給不足など、これほど外的要因の影響を受けたことは記憶にない」と振り返る中川氏。欧米では経済活動を活性化させるという政府の方針もあり、堅調なようだが、

◆Smart Prepress Solutionでトータル提案

「印刷業界も規模を追い求める必要」(中川氏)という考えのもと、コダックではオフセット、CTPシステム、ワークフローまでトータルソリューションとして展開するSmart Prepress Solution(1500枚×2+2)まで拡張できるマルチパレットローダー(MPL)などを、自動化の多彩なオプションも揃えている。「自動化オプションも含め、お客様が選択しやすいラインアップを準備している」と中川氏は取組みを評価する。

河原氏は「データアプリケーションから新しい分野にアプリケーションを拡張する上で、PROSPER 6000CPLを印刷するという、フレキシブルなソリューションへの展開を進められている。紙器、軟包装どちらも共通して言えることは、印刷物に価値を与えるのがデジタル印刷の役割である」と中川氏は今後の成長を続けるためのポイントを話す。

コダック ジャパン



執行役員 河原 一郎氏

執行役員 中川 武志氏

PRINERGYはサブスク、クラウド化を推進

「印刷業界も規模を追い求める必要」(中川氏)という考えのもと、コダックではオフセット、CTPシステム、ワークフローまでトータルソリューションとして展開するSmart Prepress Solution(1500枚×2+2)まで拡張できるマルチパレットローダー(MPL)などを、自動化の多彩なオプションも揃えている。「自動化オプションも含め、お客様が選択しやすいラインアップを準備している」と中川氏は取組みを評価する。

河原氏は「データアプリケーションから新しい分野にアプリケーションを拡張する上で、PROSPER 6000CPLを印刷するという、フレキシブルなソリューションへの展開を進められている。紙器、軟包装どちらも共通して言えることは、印刷物に価値を与えるのがデジタル印刷の役割である」と中川氏は今後の成長を続けるためのポイントを話す。

◆ワンチームで利益を生む印刷を実現

2021年、イーストマン・コダック社はストリーミングとして『Print that pays』(利益を生む印刷)を掲げている。中川氏は「コダックジャパンとしても、お客様の利益向上のためにあらゆるリソースでサポートしていく。オフセット、デジタルを含めたワンチームで市場に対応する」と決意を述べる。

「海外で展開しているSONORA XTRAをベースに日本市場向け製品を開発している。視認性、耐刷性、印刷適性

「印刷業界も規模を追い求める必要」(中川氏)という考えのもと、コダックではオフセット、CTPシステム、ワークフローまでトータルソリューションとして展開するSmart Prepress Solution(1500枚×2+2)まで拡張できるマルチパレットローダー(MPL)などを、自動化の多彩なオプションも揃えている。「自動化オプションも含め、お客様が選択しやすいラインアップを準備している」と中川氏は取組みを評価する。

河原氏は「データアプリケーションから新しい分野にアプリケーションを拡張する上で、PROSPER 6000CPLを印刷するという、フレキシブルなソリューションへの展開を進められている。紙器、軟包装どちらも共通して言えることは、印刷物に価値を与えるのがデジタル印刷の役割である」と中川氏は今後の成長を続けるためのポイントを話す。

「無処理版のリーディングメーカーとして昨年にお客様の利益改善に貢献すべくSONORAのより一層の市場拡大を図っていく。特に今年にはコダックの全CTPプレートの出荷のうち無処理版が現像タイプを出荷ベースで上回るだろう。無処理版がメインストリームになる節目の年になることは間違いなく」と中川氏は。昨年はパッケージ印刷会社の無処理版への関心も高く、「UV印刷対応のスペックが向上しているため、新しいビジネスへの転換として取り組むことができる環境になっている」とさらなる分野への広がりにも期待を寄せている。

「海外で展開しているSONORA XTRAをベースに日本市場向け製品を開発している。視認性、耐刷性、印刷適性

「印刷業界も規模を追い求める必要」(中川氏)という考えのもと、コダックではオフセット、CTPシステム、ワークフローまでトータルソリューションとして展開するSmart Prepress Solution(1500枚×2+2)まで拡張できるマルチパレットローダー(MPL)などを、自動化の多彩なオプションも揃えている。「自動化オプションも含め、お客様が選択しやすいラインアップを準備している」と中川氏は取組みを評価する。

河原氏は「データアプリケーションから新しい分野にアプリケーションを拡張する上で、PROSPER 6000CPLを印刷するという、フレキシブルなソリューションへの展開を進められている。紙器、軟包装どちらも共通して言えることは、印刷物に価値を与えるのがデジタル印刷の役割である」と中川氏は今後の成長を続けるためのポイントを話す。

「海外で展開しているSONORA XTRAをベースに日本市場向け製品を開発している。視認性、耐刷性、印刷適性

「海外で展開しているSONORA XTRAをベースに日本市場向け製品を開発している。視認性、耐刷性、印刷適性

「海外で展開しているSONORA XTRAをベースに日本市場向け製品を開発している。視認性、耐刷性、印刷適性

「海外で展開しているSONORA XTRAをベースに日本市場向け製品を開発している。視認性、耐刷性、印刷適性